

お答えします！（前編）

今回は、これまでに寄せられたご意見や、専門家による講演会で会場からいただいたご質問のうち、施設周辺の環境に関するものをご紹介します。

また、6月26日に行った岐阜県内の先進施設での見学会の様子を報告します。



大丈夫？！

環境へのご質問から

Q1 煙突からダイオキシンが撒き散らされませんか？

A1 ダイオキシンの発生を防ぐため、焼却温度を800度以上、燃焼ガスの滞留時間を2秒以上とするなど適切な運転管理を行います。

また、現在は排ガスに対する高度処理技術も確立されており、最新施設ではダイオキシン類に限らず、ばいじん、窒素酸化物、硫黄酸化物といった有害物質のほぼ100%が除去できます。

Q2 焼却施設の煙突から白煙が出ているのを見るのですが。

A2 煙突から出ている白い煙の正体は、高温で排出された排ガス中の水蒸気が、大気中で冷えて凝固し、細かい水の粒になったものです。

実際に煙突から出る白煙をご覧いただくと、煙突出口ではほとんど見えず、少し上昇したところ（冷えて水の粒になったところ）で見えることが分かります。

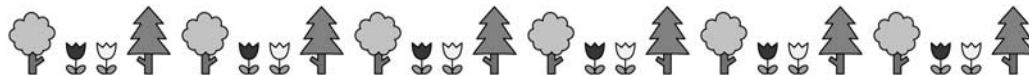
したがって、寒い日や湿度が高い日に見えやすくなり、冬季の非常に気温が低い日には、ほぼ出口直後から白く見えることがあります。（やかんでお湯を沸かした時の湯気や、吐く息が白く見えるのと同じ原理です。）

Q3 一般廃棄物処理施設によって下流域が汚染されませんか？

A3 洗浄水などの施設内で使用した水は焼却炉の冷却水などに再利用されるため、地下浸透や河川放流により施設の外に出ることはありません。

また、施設内のトイレや洗面所で発生する生活排水についても、その全量を浄化槽で水処理した後に、同様に場内で再利用されます。（建設場所によっては、生活排水のみを下水管に繋ぎこむ場合もあります。）

したがって、下流域が汚染されることはありません。



※ 広域連合のホームページには、これまでに開催した講演会や説明会でいただいたご質問と回答を掲載しています。是非ご覧ください。

ホームページをご覧になれない方には、内容を印刷してお渡ししますので、裏面の問い合わせ先までご連絡ください。

行ってきました！

先進施設の見学会報告

(6月26日 岐阜県 ^{やまがた}山県市クリーンセンター)

見学会には37人の皆さんが参加され、職員の方から説明を受けたあと、広域連合が計画中の新しい施設(処理能力40t/日)とほぼ同規模の山県市の施設を熱心に見学されました。

(施設の概要)

- ・竣工 平成22年3月
 - ・敷地面積 約6,000平方メートル
(約0.6ヘクタール)
 - ・焼却方式 ストーカ式
 - ・処理能力 36t/日(18t/日×2炉)
- ※ 山県市(人口約2万9千人)で発生する全ての可燃ごみ等を処理しています。
(山県市は、平成15年に岐阜県山県郡の2町1村が合併して誕生しました。)



クリーンセンター外観



ごみピットを覗く参加者

【参加された皆さんの声】

- ・皆がこういう施設を見学したりして理解できれば、受け入れるのも早いと思う。(男性)
- ・四角な建物はどうかと思う。屋根のあるほうが良いのではないか?(男性)
- ・税金で造られるものに対しては、どうしてもコスト意識が弱くなりがち。しっかりと経済性の考慮を行うべきだと思う。(女性)

※ 広域連合のホームページでは、これまでに開催した見学会(2月のエコパーク寒川、6月5日の金沢市西部環境エネルギーセンター)の様子も紹介しています。是非ご覧ください。

ご質問にお答えします。



計画中の新しい一般廃棄物の焼却施設について、疑問に思っていることや、必要な情報などありましたら、遠慮なくお尋ねください。

また、『お答えします!』で紹介した内容について、「もっと詳しく聞きたい。」「まだよくわからない。」といったところがあれば、お気軽にお寄せください。

お問い合わせ先

○ 北アルプス広域連合ごみ処理広域化推進係(担当:西山、中島)

電話:0261-26-3545 FAX:0261-22-7011

E-mail:kitaalps@kita-alps.omachi.nagano.jp

○ 大町市 生活環境課 電話:0261-22-0420

○ 白馬村 環境課 電話:0261-72-5000

○ 小谷村 住民福祉課 電話:0261-82-2001

